

## 平成20年度 仙台市小学校長会生徒指導部会 研究のまとめ

生徒指導部では、平成18年度より「望ましい小・中連携のあり方」について研究を進め、「小1プロブレム」「中1ギャップ」について小学校の実態を探ってまいりました。19年度には、「中1ギャップ」に焦点を絞り、仙台市の全中学校長に自校での実態と対策についての調査アンケートを依頼し、回答を得てまいりました。その結果を基に、小・中連携を推進していくための具体的な手立てを「提言」としてまとめました。

平成20年度は、その提言に沿った取組の現状について、仙台市小学校長に調査アンケートを実施し、小・中連携推進の実情を把握するとともに、仙台市全体の傾向や課題を明らかにしたいと考えました。併せてこれまで取り組んできた各学校の実践を紹介し、今後、推進を図る上での参考資料として役立てていただければ幸いです。

### 仙台市小学校の小・中連携の現状

#### 「望ましい小・中学校間の連携のあり方についての提言」

のアンケート調査を基にして

#### 調査の方法について

##### 1 方法

仙台市小学校長への紙面によるアンケート調査

##### 2 調査対象数

仙台市立小学校 123校（分校がある小学校も1校とする）

回収校 116校（94.3%）

##### 3 調査期間

平成20年9月15日～9月30日

##### 4 調査紙内容 提言各項目について

① 選択肢法 4択から1選択

② 記述法 各項目について実践例と課題

③ 調査紙 省略

各小・中学校には調査結果とまとめを送付いたしましたので、詳細につきましては、そちらをご覧ください。

これまでの皆様のご協力に心より感謝申し上げます。